

OEM-NXについて (1/2)

これまでのOEMレンタルサーバとの大きな違い

【1】 拡張性の向上 ~CPU・メモリ・HDDはスペックアップ可能~

これまででは物理専有サーバをOEMレンタルサーバとしてご利用いただいていたましたが、プラットフォームに「Nutanix」を採用しました。Nutanixは、国内、国外でのトップシェアのHCI(ハイパーコンバージドインフラストラクチャ)。ご利用状況によって柔軟に拡張することが可能です。その際のサーバ停止、ウェブ、メールの停止も発生いたしません。 (※1)

(※1) MySQL (MariaDB)、PostgreSQLをご利用で、拡張時にチューニングを行う場合は、データベースを停止・起動が必要となります。
MySQL、PostgreSQLの起動が完了するまでの間は、メール、FTP、管理画面、MySQLがご利用いただけませんのでご了承ください。

【2】 可用性の向上 ~障害時にも安心な分散型ストレージ (SDS) ~

これまででは、障害が発生すると長時間に渡りサーバが使用できなくなったり、ウェブやメールが停止する等の問題がありました。Nutanixは分散型ストレージ (SDS) の技術で構成されています。NutanixのAHVにより自動的にフェイルオーバー (※2) する仕組みの為、長時間のサービス停止がありません。

(※2) 自動的に冗長待機しているサーバに切り替わる事。これにより、サーバが長時間停止することを防ぎます。

【3】 簡単に常時SSL ~無償SSL対応・設定が自動に！~

これまででは有償のSSLのみに対応していましたが、OEM-NXではウェブ領域を作成すると自動的に無償SSLが設定されます。エンドユーザーは簡単に常時SSL化ができて、安心な状態でご利用いただけます。※他社DNSサーバの方は自己署名証明書となります。

OEMレンタルサーバ新旧比較

項目	旧OEM	新 (OEM-NX)
独自SSL[*1]	オプション ※IPベース	オプション ※SNIのみ
無償SSL[*2] Let's Encrypt	-	標準搭載
ログ転送[*3]	標準搭載	-
無償ログ解析	標準搭載	- [*4]
アクセスカウンタ	標準搭載	-
メールフォーム	標準搭載	-
アクセス 自動振り分け	標準搭載	-
エラーページ	標準搭載	標準搭載
ウェブ設定 ウィザード	標準搭載	標準搭載
アクセス制限	標準搭載	標準搭載
FTPS (Explicitモード)	標準搭載	標準搭載
最新 ログ閲覧 [*5]	標準搭載	標準搭載
ホームページ引越し	標準搭載	- [*6]
Perlモジュール 閲覧/検索	標準搭載	- [*6]
CGI Perl 文法チェック	標準搭載	- [*6]
ユーザ個別 管理画面	標準搭載	標準搭載
ウェブメール	標準搭載	標準搭載
ウイルス チェック	標準搭載	標準搭載
迷惑 メール フィルター	標準搭載	標準搭載
転送設定	標準搭載	標準搭載
自動返信 設定	標準搭載	標準搭載
受信拒否 設定	標準搭載	標準搭載

項目	旧OEM	新 (OEM-NX)
メール通知 設定	標準搭載	標準搭載
POP over SSL	標準搭載	標準搭載
SMTP over SSL	標準搭載	標準搭載
メールリング リスト	標準搭載	標準搭載
送信受信 容量[*7]	30MB	標準 : 50MB
メール保存期間[*8]	100日	無制限
PHP[*9]	ご契約による	PHP5/PHP7
SSI	標準搭載	-
MySQL[*10]	標準搭載	-
MariaDB[*10]	-	標準搭載
PostgreSQL	標準搭載	標準搭載
phpMyAdmin	標準搭載	標準搭載
phpPgAdmin	標準搭載	標準搭載
サブミッション ポートSMTP認証	標準搭載	標準搭載
IMAP over SSL	標準搭載	標準搭載
Perl	ご契約による	5.16系
Python	ご契約による	2.7系
ruby	ご契約による	2系
Apache	ご契約による	2.4系
SQLite	○	○
sendmailパス	○	○
ImageMagick	○	○
SSHログイン	-	○

※1 OEM-NXではSSLはSNIのみとなります。IPベースはご利用いただけません。別途認証局のライセンス取得が必要です。

※2 サブドメインも含まれます。取得から1週間以内の取得について20枚の上限があります。

※3 OEM-NXでは搭載ありません。ユーザ領域にログを出力します。

※4 OEM-NXでは搭載ありません。Google Analytics等をご利用ください。

※5 OEM-NXではwebのログに加え メールログ も閲覧可能です。

※6 SSHログインが開放となりますので、サーバにログインしていただきコマンドにてご確認等が可能となります。

※7 メール1通あたりの容量です。これを超えるメールを送受信する事はできません。OEM-NXの標準は50MBです。(変更可能)

※8 IMAPや、POPでサーバにメールを残す状態でお使いいただく場合、サーバにメールが残ったままとなり新しいメールが受け取れなくなることがあります。IMAPをお使いいただく場合は不要なメールは定期的に削除いただくか、POPでサーバにメールを残さない設定をお勧めいたします。迷惑メール フォルダに 振り分けられた メールは30日間で削除されます。

※9 選択可能です。5.6系※、7.2系、7.3系、(CGIモード)。5.6系は旧サービスからの移行のみご利用可能です。

※10 MariaDBはMySQLと互換性があります。MySQLでエクスポートしたデータをご利用可能です。

※ データベースの文字コードはUTF-8となります。

OEM-NXについて (2/2)

その他変更点

項目	変更点	概要
DNS	すべてのサービスで統一になりました。	(変更前) サービス毎に異なるネームサーバ (変更後) すべてのサービスで統一
Webサーバの変更点	ドキュメントルートが変更になりました。	(変更前) /home/httpd/webmaster-XXX/public_html (変更後) /var/www/ユーザごとに異なります/[FQDN]/public_html ※プログラムの中に絶対パスで記載している場合、書き換えていただく必要があります。
	有効なモジュールが変更になりました。	OS、Apacheのバージョンが変わったことも関連しApacheのモジュールが増えました。
	ログ転送設定が不要になりました。	お客様がご自身で確認できるようになった為ログ転送設定が不要になりました。 以下領域にログが出力されます。 /var/www/ユーザごとに異なります/[FQDN]/logs/access_log /var/www/ユーザごとに異なります/[FQDN]/logs/error_log
	各種パスが変更になりました	OEM-NXの各種パス Perlパス: /usr/bin/perl Rubyパス: /usr/bin/ruby Pythonパス: /usr/bin/python ImageMagic パス: /usr/bin/convert sendmail パス(メールプログラムpostfix使用): /usr/sbin/sendmail
SSLの変更点 [*1]	常時SSLになりました。	ウェブ領域の設定を行うと自動的に無償SSLが設定されます。 ※無償のSSL証明書として、標準でLet'sEncryptと自己署名証明書に対応しています。
PHPの変更点	PHPが選べるようになりました。 [*2]	ホスト毎にPHPのバージョンを選択できるようになりました。
	php.iniの設定を反映させる際の、.htaccessファイルの記述が変わりました。 [*3]	(変更前) suPHP_ConfigPath /home/httpd/webmaster-xxx(基本FTP-ID)/public_html (変更後) suPHP_ConfigPath /var/www/ユーザごとに異なります/[FQDN]/public_html
データベースの変更点 [*4]	MariaDBをご利用いただけるようになりました。	以下内容が向上しています。 ・セキュリティ面・頑健性・パフォーマンスが向上 ・拡張性・処理性能・品質が向上
	接続ユーザが複数作成できるようになりました。	これまでデータベースに接続できるユーザは1人でしたが、複数ユーザを作成できるようになりました。 ※ユーザ名は、データベース作成時に自動的に発行されるため変更はできません。
	cron設定の有効・無効設定ができるようになりました。	管理画面内から、cronの設定の有効・無効設定ができるようになりました。
ミライネットのドメイン	ov ***.mcnx.jp ※***部分は自動的に付与されますので、選択はできません。	これまでは.の前部分に任意の名称をつけたサブドメインをご利用可能でしたが、OEM-NXでは、サブドメインは自動的に付与されます。

※1 標準でLet'sEncryptと自己署名証明書に対応しています。(有料オプションでその他選択可能) Web設定時に、自動的にLet'sEncrypt証明書の取得を試みます。失敗した場合は自己署名証明書が設定される為、特殊な設定なくSSL化した状態でご利用いただけます。Let'sEncryptはドメイン認証(DV: Domain Validation)です。DNS認証[*1]によりワイルドカード証明書を取得します。URL認証[*2]には対応していないため、MRS-NXのDNSサーバを使用していないドメインの証明書は取得できません。

※1 DNSのTXTレコードに認証用のコードを埋め込んで、それが参照できるか確認する方法のこと。

※2 WEBの指定された領域に認証用のコードを設置して、それを参照できるか確認する方法。

※2 (例) XXXXXX.comではPHP5.6を使用する。同じサーバ内にあるサブドメインwww.XXXXXX.comではPHP7.2を使用する等。

※3 下位ディレクトリにもphp.iniの設定を反映させたいときに、.htaccessファイルに記述を追加していただきます。詳細はウェブサイトをご確認ください。

※4 MariaDBはMySQLと高い互換性がある為、これまでMySQLをご利用いただいていた方もスムーズに移行していただけます。インストール方法やディレクトリ構造がほぼ同じです。

未来工業グループ

株式会社 ミライ コミュニケーション ネットワーク

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-12 ソフトピアジャパン内
TEL 0584-78-7810 FAX 0584-82-3250

<https://www.mirai.ad.jp>
support@mirai.ad.jp

お問い合わせは 10:00~18:00 (日・祝、年末年始を除く)

 ミライ ツナグ
0120-301-279

2019.06.24